

大熊公平

市長の政治姿勢について

問 住みよさのランキングが発表され、全国810市のうち総社市は639位だった。この評価をどう捉えるか。

答 実に悔しい。今後は順位を一つでも上げるよう取り組みたい。(以下市長)

定住促進策について

問 自然災害が比較的少ない



建設が進む高梁川新架橋

岡山県南・総社市を転居先に選ぶ家族が増えているが、適当な空き家がない。空き家バンクを発足してはどうか。

答 人口を増やしたい。空き家バンクの名前でなく「総社暮らしネット」とかネーミングを変えて、早ければ来年度から取り組みたい。

環境行政(地球温暖化防止)について

問 住宅用太陽光発電システム

小西利一

市長の政治姿勢について

問 10月28日に投票が行われた県知事選挙で、伊原木知事を応援した理由を聞きたい。

答 以前のように要望するだけの関係ではなく、対等の立場で議論できる方。また、岡山マラソンと吉備路マラソンの一本化についても検討してくれ、公約で本市を県立博物館の候補地としてもらえるた

ム設置費補助金の意義は何か。

答 自然エネルギーの普及とCO2削減である。

問 CO2など温室効果ガス排出削減効果の掌握はどうか。

答 設置者から報告はもらっていないが、発電量から算出している。(市民環境部長)

問 京都議定書の延長に伴い国の離脱が決まったが、今後、環境マネージメント・自己宣言は継続かそれとも中止か。

答 継続したい。(市長)

め応援をした。(以下市長)

吉備路マラソンについて

そうじゃ

問 岡山マラソンの中止申し入れを9月ではなくなぜこの時期にしたのか。

答 知事と以前から親交もあったので、この時期に岡山マラソンの開催中止を要望した。参加人数ばかりでなく、内容を充実させたらどうか。答 今後は参加者、ボラン

ティア、市民の皆様にもっと喜んでもらえる大会にしたい。

西部地域の今後の計画について

問 新総社大橋が平成26年度末に完成するに当たり、西部地域の今後の発展に向けた取組はあるのか。

答 産業が発展し、企業が増出し、人口が増え、子どもが増加して経済が潤う街になるよう取り組んでいきたい。

住みよさ:総合639位

安心610位 利便689位 快適347位
富裕451位 住居290位

成長力:総合65位
消費247位 産業45位

民力度:総合305位
消費375位 産業283位

財政健全度:総合439位
脱借金体質563位 弾力性・自主性622位
財政力260位 財政基盤333位

出典:都市データパック(2012年版)(東洋経済新報社)

根馬和子

健康政策について

問 国民健康保険・後期高齢者医療への財政負担の変遷はどのようになっているか。

答 毎年1億円以上の増加で基金も少なくなり苦慮している。(以下市長)

問 予防中心の政策をするべきと思うがどうか。

答 寝たきりにならない政策を数値目標を持って攻めの姿



大規模な災害を想定して行われた防災訓練(平成24年11月25日 山手小)

勢で取り組む。

問 元気高齢者が他の人を啓発できる方法を考えているか。

答 元気に活動する様子を広報するのも良い方法と思う。

子育て支援について

問 子どもの生活習慣病やその予備軍の症状が問題視されているが、血液検査をしてみようか。

答 今は現行の制度で行っている事をする。

津神謙太郎

防災対策について

問 大規模災害時における職員体制をどう考えていくのか。

答 大規模災害時には行政機能が麻痺し、職員も被災すると考えた場合、全てを職員で対応することは困難だと考え、市職員・消防職員のOBや各町内会役員等を臨時職員として対応する制度を考えていきたい。(市長)

教育行政について

問 食育の日の取組と効果はどうか。

答 毎月19日を食育の日として、弁当持参の取組を行ったり、栄養教諭等が指導したりしている。(以下教育長)

問 日本の食文化の継承はどのようにしているか。

答 行事に沿った食事を出して食文化を感じるようにしている。

問 市民及び民間企業との協力体制をどう考えていくのか。

答 大規模災害時には、市民の生命を守るために、支援物資の確保や運搬について多くの企業とも協定を結んでいるが、今後、各自主防災組織に食料品等を50万円までは自由に使える協定も結んでいきたい。また、条例化も視野に入れて災害時の体制を考えていきたい。(市長)

問 消防署や公民館に災害用



施設でも行われている「いきいき百歳体操」

救助工具を設置してはどうか。

答 貴重な備えなので随時考えたい。(市長・消防長)

都市計画について

問 快適な都市空間を考える上で道路や水路整備をどう考えていくのか。

答 南北道路整備については、予算がかかるので検討したい。また、宅地化に伴う雨水排水の増加を考えながら水路整備を進めたい。(市長)